



2025 (令和7) 年 5月 1日



第2号

伊賀市立拓植小学校

HP二次元コード 校長 松本 徹

風薫るさわやかな季節を迎えました

4月7日(月)に1学期をスタートしてから約4週間が経ちました。1年生の子どもたちもずいぶんと学校生活に慣れ、元気に友だちと過ごしています。2～6年生の子どもたちは、明日に迫った「一年生を迎える会」をみんなで成功させようと張り切っています。

ゴールデンウィークが明けると、学校全体が一気に運動会モードになっていきます。安全に気をつけながら、子どもたちが精一杯取り組みめるよう指導していきますので、5月24日(土)の運動会にはご家族みなさんでお越しください。よろしくお願いいたします。

参観・懇談、家庭訪問、ありがとうございました

4月18日(金)には、今年度最初の授業参観にお越しいただき、ありがとうございました。その後の学級懇談会にも多数ご参加いただいたお陰で、担任からお伝えすることに加えて、お家での子どもたちの様子も情報交換していただくことができました。

また翌週には、定期の家庭訪問で本校職員がお邪魔しました。今後、気になること等がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。よりよい方向が見つかるよう一緒に考えさせていただきます。

5月の行事予定

1日(木) 歯科検診
2日(金) 一年生を迎える会
5限授業 14:50下校
3日(土) 憲法記念日
4日(日) みどりの日
5日(月) こどもの日
6日(火) 振替休日
9日(金) 委員会活動
内科検診(1・2・3年)
10日(土) 環境整備作業
12日(月) 育友会一斉登校指導
眼科検診(1・3・5年)
13日(火) 教育ボランティア会議
14日(水) 水曜集会
15日(木) 内科検診(4・5・6年)

16日(金) 5限授業 14:50下校
23日(金) 運動会前日準備
1～4年 14:00下校
5・6年 15:40下校
24日(土) 運動会 14:30下校
25日(日) 運動会予備日
26日(月) 振替休業日
30日(金) 5限授業 14:50下校



こんご ちく ちゅうがっこう がた 今後のいがまち地区の中学校のあり方について

ちゅうがっこう とうごう かか つげ ちい き ほ こ し ゃ が く し ゅ う か い が つ に ち か つ げ ちゅうがっこう しちょうかくしつ
 中学校の統合に係る柘植地域保護者学習会が4月22日（火）に柘植中学校の視聴覚室で
 おこな いがしきょういくいいんかい しゃくいん かたがた こんご こ
 行われ、伊賀市教育委員会から職員の方々にお越しいただき、今後のいがまちの子どもた
 すい い げんざいかか かだい こんご ほうこうせいとう はなし
 ちの推移や現在抱えている課題、今後の方向性等についてお話をいただきました。

これまで、この動きについては注視をしてきましたが、保護者・地域の皆様に学校から
 お伝えをできていませんでしたので、現在わかっている状況についてお知らせします。

こんご じどうせいとすう すい い にん ◇今後のいがまちの児童生徒数の推移（人）

	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
つ げ しょう 柘 植 小	119	106	101	93	83	70	62	56	51	47
にしつげしょう 西柘植 小	97	90	86	87	89	93	94	92	95	94
みぶのしょう 壬生野小	149	146	138	122	118	107	104	92	90	89
つ げ ちゅう 柘 植 中	50	58	58	61	56	58	55	49	42	38
れい ほう ちゅう 霊 峰 中	124	129	123	139	127	122	107	114	106	106

うえ ひょう
 上の表のように、今後10年間で、いがまち、中でも柘植地域の子どもたちの数は、急激
 げんしょう
 に減少していきます。また、これにともなって教職員数も減少し、教科指導はもちろんの
 ぶかつどう じっし さまざま えいぎょう で じょうだい
 こと、部活動の実施についても様々な影響の出る状態となっています。

このような状況を鑑み、2025（令和7）年2月28日に、柘植中学校PTSA会長、柘植
 ちゅうがっこうちやう せいほうちゅうがっこう かいちやう せいほうちゅうがっこう しゃれんめい いがしきょういくいいんかい きやういく
 中学校長、霊峰中学校PTA会長、霊峰中学校長の4者連名で、伊賀市教育委員会の教育
 ちやうあて せいほうしや だ せいほうしや ないやう い か てん
 長宛に要望書が出されました。要望書の内容は、以下の3点です。

- あたら がっこう りやうこう がっぺい こうめい こうしょう こう き こう か あたら
 1. 新しい学校として両校を合併する。（校名、校章、校旗、校歌を新しいものとする。）
- がっぺいご がっこうしやざいち れいほうちゅうがっこうこうしや しやう
 2. 合併後の学校所在地については、霊峰中学校校舎を使用する。
- れい わ ねん がつついたち あたら がっこう かいこう
 3. 2027（令和9）年4月1日をめどに新しい学校として開校する。

その要望書に対して、2025（令和7）年3月3日に、伊賀市教育委員会より「今後の
 い が し ちく ちゅうがっこう かた りやうちゅうがっこう きやうぎけっ か こんご
 伊賀市いがまち地区の中学校のあり方について ～両中学校PTA での協議結果について
 だ しょうがっこう こう じゅうみんじちきやうぎかい ぜんたい
 ～」が出され、いがまちの小学校3校や3つの住民自治協議会など、いがまち全体への
 ちゅうがっこうとうごう たい り か い もと うご はし
 中学校統合に対する理解を求める動きが始まっています。

こんご ほんねん がつ ほっそく きやうぎかい なか ちゅうがっこう とうごう む はな
 今後は、本年6月をめどに発足される協議会の中で、2つの中学校の統合に向けた話し
 あ すす つげしょうがっこうちやう わだし ひらのいくゆうかいちやう きやうぎかい こうせい
 合いが進められることとなります。柘植小学校長である私や平野育友会長も協議会の構成
 メンバーになりますので、みなさんからいただくご意見を丁寧に伝えていきたいと考えて
 います。

がっこううんえいきょうぎ かいいいん もんだいそうだんいん しょうかい 学校運営協議会委員・いじめ問題相談員のご紹介

こんねんど せわ がっこううんえいきょうぎ かいいいん もんだいそうだんいん かたがた
今年度お世話になる「学校運営協議会委員」と「いじめ問題相談員」の方々をご
しょうかい
紹介します。

がっこううんえいきょうぎ かいいいん ＜学校運営協議会委員＞

たかぎ やすえ なかしま やすこ にし いまさかず ひらの しんすけ
高木康江さん 中嶋恭子さん 西井正和さん 平野伸輔さん

がっこううんえいきょうぎ かいいいん けん もんだいそうだんいん ＜学校運営協議会委員兼いじめ問題相談員＞

まえし まと も こ
前嶋智子さん

もんだいそうだんいん ＜いじめ問題相談員＞

はやし ゆうじ ふじ いまゆみ
林優次さん 藤井真弓さん

ほんこうきょういとかつどう じゅうじつ こ あんげん あんしん きょうりよく
本校教育活動の充実と、子どもたちの安全・安心のためにご協力いただきます
ので、保護者・地域の皆様お知りおきください。委員の皆様・相談員の皆様、
いちねんかん ねが
一年間どうぞよろしくお願いいたします。

ねが ＜お願い＞

さくねんど いちねんかん ほこしや ちいき みなさま
○昨年度一年間、保護者・地域の皆様にはベルマーク

うんどう きょうりよく
運動にご協力いただき、ありがとうございました。

きょういく みなさま し わ きぎょう せわ
教育ボランティアの皆様には仕分け作業をお世話に

なり、7,000円分の教育活動費をいただくことがで

きました。一昨年度の 6,000円分を合わせた

13,000円分の教育活動費で、ソフトバレーボール

2個とラグビーボール3個をいただくことができ

ました。今年度も、児童会役員の子どもたちを中心に、ベルマーク運動に取り組んでい

きますので、ぜひご協力いただければと思います。集まったベルマークについては、お

子さんを通じて学校までお届けください。（エプソン純正インクカートリッジも、引き続

き集めていきます。）



がっこう さくてい 学校マニフェストを策定しました

さくねんど せいか かだい みえけん きょういん い が しきょういくほうしんとう ないよう
昨年度の成果と課題、三重県教育ビジョンや伊賀市教育方針等の内容もふまえて、
こんねんど つげしょうがっこう さくてい つぎ
今年度の柘植小学校マニフェストを策定しました。次のページにありますマニフェストの
じつげん む ほこしや みなさま ちいき みなさま しえん きょうりよく ねが
実現に向けて、保護者の皆様・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2025(令和7)年度 柘植小学校マニフェスト

校長 松 本 徹

【学校教育目標】

誰一人取り残さない教育を推進し、確かな学力を身につけた子どもを育成する

【めざす子ども像】

◎自分の考えをもち、これからの社会をたくましく生き抜こうとする子ども

- 教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする子ども
- 自分のくらしを見つめ、自分を取り巻く人の願いを受け止め、生活を高めていこうとする子ども
- 多様な人生モデルとの出会いを通して将来を思い描き、必要なスキルを身につけようとする子ども

取組の重点	具体的な取組	数値目標（A+Bの肯定的回答） ◇児童アンケート ◆保護者アンケート
なかまづくり・ 学級集団づくり	○日々の学級活動や一枚文集を読み合うことにより、子どもたち一人ひとりがお互いのことを知り合っていく活動を継続します。 ○文化的・生産的な活動を通して、自主的・自治的な力を育みます。	◇「学校での様々な活動を通して、友だちの考えていることや生活の様子がわかってきた」90%以上 ◇「学級活動や委員会活動、縦割り班活動などで、みんなが気持ちよく過ごせるようにしている」90%以上
<学 力> 子どもが主体的 に取り組む授業 の創造、基礎学 力の向上、家庭 学習の定着	○授業力向上（授業づくり）の取組を通して「子どもが主体的に取り組む授業」に努めるとともに、子どもたちの基礎学力の向上を図ります。 ○家庭学習の内容を工夫し、保護者と協働して家庭での学習習慣を定着させます。	◇「授業の中で進んで考え、友だちとともに学ぼうとしている」85%以上 ◆「学校は、基礎学力の定着を大事にしている」90%以上 ◇「学年に応じた勉強時間と読書時間を守って、家庭学習に取り組んでいる」85%以上
<人 権> 自他の人権の尊 重、自己肯定感 の獲得、差別や 偏見を見抜く力 の育成	○すべての子どもが自分のよさや可能性に気づき、自分の人権も周りの人の人権も大切にできるようにします。 ○差別や偏見など、「おかしい」と思うことがあれば、それをなくしていこうと行動できる子どもを育てます。	◇「自分にはよいところがある」80%以上 ◇「困っている友だちのそばで考え、解決するように行動している」90%以上 ◆「学校は、人権を大切にした教育活動に取り組んでいる」90%以上
<キャリア> 自分の将来を思 い描く力の獲得	○子どもたちが「将来なりたい自分」を思い描けるよう、出会い学習や体験活動を通して、仕事や生き方について学ぶ学習を進めます。	◇「自分の将来の夢や目標をもっている」85%以上 ◇「自分から進んであいさつをすることができる」90%以上
保護者・地域と ともに創る学校	○教育活動をわかりやすく伝え、保護者や地域の方とともに学校づくりについて考える機会を大切にします。	◆「学校は通信やホームページなどにより、情報発信に努めている」85%以上 ◆「学校は保護者の意見を取り入れて、学校改善に努めている」85%以上
職場環境づくり	○教職員が心身のゆとりをもって子どもと向き合えるよう、働きやすい環境を整えます。	○会議時間の短縮（60分以内） ○安全衛生委員会の学期1回開催 ○定時退校日の設定（毎週水曜日）

「学校へ行くのが楽しい」と回答する子ども 90%以上をめざします。